

令和5年度事業報告書

(令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで)

特定非営利活動法人しょうがい生活支援の会すみか

1. 事業実施の方針

「障害の有無を問わず誰もが自己実現できる社会づくり」「24時間365日このまちで安心して暮らせるシステムづくり」という本法人のミッションに基づき、引き続き事業を展開した。

事業面では、ヤングケアラーに関する意識調査とそれに関する研修会が新聞やテレビで取り上げられるなど関心を集めた一方、認知度や支援体制の課題も浮き彫りになった。また、相談支援事業のニーズの高さがあり、マンパワー不足から依頼を断らざるを得ないこともあった。マンパワー不足については他事業にも見られ、人材の確保と育成は急務である。

管理面及び事務局体制については、相談支援事業に対する行政からの実地指導や当法人監事からの監査でも重大な指摘事項はなかったものの、多岐にわたる事業実施に耐えうる組織体制強化は今後の課題である。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

上記の事業実施の方針を具現化するため、以下の事業を行った。

① 障害児・者の休日支援事業

支出額 680千円

障害当事者と家族の余暇支援プログラム

(助成事業：鳥栖市社会福祉協議会助成金)

障害の種別を問わない多様な障害当事者及び家族が集い、動作法により仕事や学校などの日常とは違うホッとできる時間づくりを行った。質の高い支援を継続することで参加者のニーズに対応した。

実施日：毎月1回（7月を除く）

実施場所：法人事務所

スタッフ数：(延べ) 講師 33 名、事務局 22 名

対象者：障害のある人及び家族

対象人数：(延べ) 利用者・家族 128 組

②障害者の就労に関する事業

支出額 30 千円

リサイクルショップくるり

物品販売を通して、障害のある人の社会参加の促進を目指した。法人全体の運営体制のバランスを見ながら、事務所での販売を中心に継続を図った。

実施日：通年

実施場所：法人事務所

スタッフ数：(通年) 事務局 1 名

対象者：障害のある人や関係者

対象人数：20 人

③福祉に関する相談支援事業

支出額 3 千円

A. コミュニティサロン

障害の有無にかかわらず様々な人が集える居場所づくりを行った。少人数ながら参加者のニーズが高いことを踏まえ、一人ひとりの満足度の向上に努めた。

実施日：毎月第 2 水曜日 11:00～15:00 (8 月を除く)

実施場所：法人事務所

スタッフ数：(通年) 事務局 2 名

対象者：事務所近隣住民の方など

対象人数：(延べ) 一般市民 71 名

B. 個別相談

福祉・心理等の専門性が必要な相談について、マンツーマンによる相談対応を行うこととした。ただし、指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業で対応可能なものについては優先的に対応することとしたため、実績は

無かった。

④障害児のきょうだい支援事業

実施なし

⑤健康増進事業

実施なし

⑥福祉啓発事業

支出額 969千円

A. 障害者の居場所づくり事業（委託事業：鳥栖市）

障害当事者がそれぞれの立場や団体の利害関係を超えて集える場所『ほっとスペース』を開催し、楽しい時間を過ごしたり、悩みを共有したり、情報交換できる場所とした。

実施日：令和5年5月～令和6年2月（10回）

実施場所：鳥栖市社会福祉会館

スタッフ数：（延べ）講師38名、ボランティア18名、事務局22名

対象者：事務所近隣住民の方など

対象人数：（延べ）ぴあCAFE51名、おやCAFE64名、保育14名、
あなたの相談室0名

B. 障害に関する啓発事業（委託事業：鳥栖市）

障害のある人への理解を促進するため、市民向け、行政職員向けの啓発事業を行った。鳥栖市内の他団体が行う啓発事業とのすみ分けを図りつつ、地域のニーズに対応した。

実施日：7/19、12/20、2/29

実施場所：鳥栖市民生委員・児童委員協議会障害者部会、
鳥栖市（職員対象）、ひかり園

スタッフ数：（通年）1名

対象者：一般市民

対象人数：55名

C. 研修・交流事業

テーマや対象者に合わせた研修会や出張講演、交流事業等を通じて、障害や福祉に関する理解を深めた。

実施日、場所：

- 2023/5/15 障害って何だろう!?!～誰もが自分らしく暮らせる社会～
筑紫女学園大学講義「知的障がい者教育方法論」
- 2023/6/1 車イス体験の前に知ってほしいこと 旭小学校
- 2023/6/23 車イス体験の前に知ってほしいこと 田代小学校
- 2023/6/26 障害とその人の理解 (公財)佐賀県女性と生涯学習財団
- 2023/7/11 佐賀県相談支援従事者初任者研修講義
「相談支援(障害児者支援)の目的と意思決定支援」
佐賀県社会福祉士会
- 2023/7/30 【司会】本人の幸せを願う意思決定の支援
第64回障がい者(児)の教育・福祉・就労研修佐賀県大会
- 2023/8/6 障害って何だろう!?!～誰もが自分らしく暮らせる社会～ NPO ドナセナ
- 2023/9/19 車イス体験の前に知ってほしいこと 弥生が丘小学校
- 2023/9/28 車イス体験の前に知ってほしいこと 東脊振小学校
- 2023/10/8～9 佐賀県障害者ピアサポート研修(基礎研修)
佐賀県(佐賀県社会福祉士会)
- 2023/10/18 障害って何だろう!?!～誰もが自分らしく暮らせる社会を目指して～
(心のバリアフリー研修) 吉野ヶ里歴史公園
- 2023/10/21～22 佐賀県障害者ピアサポート研修(専門研修)
佐賀県(佐賀県社会福祉士会)
- 2023/11/22 児童生徒の自立や社会参加に向けて 中原特別支援学校
- 2023/12/21 障害とその人の理解 精華女子短期大学(オンライン)
- 2024/2/15 【司会】本人の幸せを願う意思決定の支援
三神地区障がい者(児)教育と福祉研修大会
- 2024/3/19 ソーシャルワーカーの役割を改めて考える
～パターンリズムを切り口に～ 福岡県地域福祉活動職員連絡会

スタッフ数：(通年) 1名

対象者：福祉関係者、一般市民、等

対象人数：(延べ) 1,400名

D. 障害当事者が生き方を伝える事業

(助成事業：佐賀県地域福祉振興基金)

障害の有無を問わず当たり前地域で暮らすことを選べる社会を実現するために、障害当事者の暮らしを伝えるイベント(映画・トーク等)を開催することで、障害当事者・家族・支援者等が障害のある人の地域生活のイメージを拡げると共に、当事者主体の生き方の実現に寄与した。

実施日：令和5年11月19日

実施場所：サンメッセ鳥栖

スタッフ数：講師7名、実行委員6名、事務局2名

対象者：障害当事者、ご家族、支援者、その他一般市民、等

対象人数：(延べ) 98名

⑦ 障害児・者を取り巻く福祉・教育・就労等に関する調査・研究事業

支出額 313 千円

ヤングケアラーの支援に関する一歩目の事業

(助成事業：鳥栖市市民活動支援補助事業)

鳥栖市内におけるヤングケアラーの現状を把握し、今後支援体制を構築するにあたり根拠となるニーズを明らかにする。また、関係者に対する啓発を行い、広く市民に発信することによって、市民全体の関心を高める。

実施日：令和5年4月～令和6年2月

実施場所：鳥栖市内

スタッフ数：理事・事務局3名

対象者：調査・鳥栖市内の小中学校や保育園等の職員

啓発・調査対象者及び一般市民

対象人数：調査・913名、研修会・82名、報告会・89名

⑧ 児童福祉法に基づく事業

支出額 14,355 千円

A. 中原特別支援学校放課後児童健全育成事業（委託事業：みやき町）

障害のある児童がリラックスして楽しめる環境を提供し、就学時間終了後及び長期休暇期間中に安全且つ安心して過ごせる場となるよう目指した。利用者の増加及び重度化に対応できるよう、職員のスキルアップを含めた支援の充実に努めた。

実施日：開所日数 287 日

月～金曜 14:00～18:00

土曜・長期休暇中 9:00～18:00（8:30～9:00の延長あり）

実施場所：中原特別支援学校放課後児童クラブゆう

スタッフ数：(述べ) 1,323 名

対象者：中原特別支援学校に在籍する児童・生徒

対象人数：(述べ) 2,467 名

B. 指定障害児相談支援事業

地域の中で困り感を抱える障害児とその家族に対し、障害児通所支援事業等の利用を通じてニーズの充足を図るために、障害児通所支援事業等の利用申請に必要な障害児支援利用計画書の作成等を行った。

実施日：通年 月曜～金曜 9:00～18:00

実施場所：法人事務所

スタッフ数：(通年) 2名

対象者：障害福祉サービスを利用する障害児

対象人数：68件(計画及びモニタリング)

⑨ 障害者総合支援法に基づく事業

支出額 1,007千円

指定特定相談支援事業

地域の中で困り感を抱える障害当事者や家族に対し、障害福祉サービス等の利用を通じてニーズの充足を図るために、障害福祉サービスの利用申請に必要なサービス等利用計画書の作成等を行った。

実施日：通年 月曜～金曜 9:00～18:00

実施場所：法人事務所

スタッフ数：(通年) 2名

対象者：障害福祉サービスを利用する障害者

対象人数：17件(計画及びモニタリング)

⑩ 上記の事業を達成するために必要な事業

支出額 7千円

市民協働事業

当法人のミッション達成にも通じる活動を行う市民活動団体と協働し、事業の実施や団体運営サポートを行うと共に、各種審議会等の委員としての政策提言等を行った。

<委員会、会議等>

ア. 鳥栖市まち・ひと・しごと創生有識者会議(芹田：委員として)

イ. 鳥栖市障害福祉計画・障害児福祉計画策定委員会(芹田：委員として)

ウ. 鳥栖市・三養基地域自立支援協議会(構成団体として)

エ. 鳥栖市障害者理解促進実行委員会(芹田：委員として)

オ. 鳥栖市社会福祉協議会苦情解決第三者委員(芹田：委員として)

カ. 鳥栖市社会福祉協議会・ふれあいスクール(芹田：校長として)

キ. 佐賀県障害者ピアサポート研修ワーキンググループ(芹田：委員として)

ク. 心理リハビリテーションの会ホームページ運営委員会(芹田：委員として)

(2)その他の事業

特定非営利にかかる事業を滞りなく実施するため、以下の事業によって収入の確保に努めた。

①自動販売機設置事業

支出額 11千円

本法人を支援する個人宅や企業内に自動販売機を設置し、特定非営利活動に係る事業を資金面で補填した。また、設置に際しては販売機にその設置趣旨を明記し、啓発広報にも活用した。

実施日：通年

実施場所：本法人を支援する個人宅や企業内

スタッフ数：(通年) 2名